
BYD、都市部 NOA 向け補償制度を導入 自社開発 4nm 車載チップ「璇玑 A3」を発表 スマートドライビング技術のさらなる進化と安全性向上を推進

- 世界初^{*1}となる都市部 NOA (Navigate on Autopilot) 向け事故補償制度を導入し、法令遵守下で発生した経済損失を補償。
- 中国初^{*2}の自社開発 4nm (ナノメートル) 車載 AI チップ「璇玑 (センキ) A3」を発表。高性能と省電力を両立し、量産化を実現。
- 「スマートドライビングをすべての人へ」を掲げ、LiDAR (ライダー) の全車展開と継続的な研究開発投資を通じて、交通事故ゼロを目指す。



— 中国・深圳 2026年5月28日

BYD は 5 月 28 日に開催したインテリジェンス戦略発表会で、中国市場向けに「天神之眼 運転支援システム」の「都市部 NOA (Navigate on Autopilot)」機能に対する補償制度の導入を発表しました。また、中国初^{*2}となる自社開発の 4nm 車載スマートドライビング SoC (System on Chip) 「璇玑 A3」を公開しました。

今回の発表により、BYD はインテリジェントパーキング（自動駐車）機能に加え、都市部 NOA 機能についても補償制度を提供する世界初*1 の自動車メーカーになります。また、「スマートドライビングをすべての人へ（Intelligent Driving for All）」という戦略のもと、全ラインアップにおいて「天神之眼」運転支援システムの LiDAR 搭載版を選択可能とすることも発表しました。

*1, *2 2026 年 5 月 28 日時点、自社調べ

■ スマートドライビング時代に向けた BYD のビジョン

BYD はスマートドライビング時代に、以下の 3 つの目標を掲げています。

1. 「交通事故ゼロ」の実現
2. 運転支援システムによる「スーパー・ドライバー」の実現
3. AI による「スーパー・パーソナルアシスタント」の実現

これらの実現に向けて BYD は、今後もスマートドライビング分野に累計 1,000 億元（約 2 兆円）を超える研究開発投資を継続し、すべてのユーザーにとって、より安全なモビリティ体験の提供を目指しています。

■ 都市部 NOA 向け補償制度を導入

今回発表した補償制度は、中国市場で「天神之眼 運転支援システム 5.0」を搭載、または同システムへアップグレードしたユーザーを対象に提供します。対象ユーザーが法令およびシステム利用条件を遵守した状態で、都市部 NOA 機能を利用している間に事故が発生し、ユーザー側に法的責任が認められた場合、BYD が発生した経済的損失を補償する内容となっています。

BYD が、こうした取り組みを実現できる背景には、中国の自動車メーカーとして最大規模となる 315 万台以上のスマートドライビング対応車両の運行実績、1 日あたり 2 億 km を超える走行データ、そして、5,000 人規模の研究開発チームによる継続的な技術開発があります。

■ 「天神之眼 運転支援システム」をさらに進化

BYD は「天神之眼 運転支援システム」について、以下 4 つのアップデートを発表しました。

1. 璇玑（センキ）アーキテクチャ 2.0
2. 業界初の衛星センサーアーキテクチャ
3. 進化したフィジカル AI 大規模モデル
4. 大規模な実走行シナリオを活用したデータフライホイール

また、車載インフォテインメントシステム「DiLink（ディーリンク）AI スマートコックピット」には、AI エージェント機能を搭載。ユーザーの意図を理解し、自発的な提案やタスク実行を行うことで、より高度な車内体験を提供します。

■ 中国初の自社開発 4nm 車載スマートドライビング SoC「璇玑 A3」

発表会では、中国初となる自社開発の 4nm 車載スマートドライビング SoC「璇玑 A3」も公開されました。同チップは、L3 および L4 レベルの自動運転への対応を見据えて開発しており、3 チップ構成では 2,100 TOPS*³ を超える演算性能を実現します。

*³ Tera Operations per Second の略、1 秒間に何兆回の演算を実行できるかを表す単位。
100TOPS なら 1 秒間に 100 兆回

さらに、先進的な 4nm プロセスを採用しながら、同クラスの製品と比較して、TOPS あたりの消費電力を約 20%低減。すでに量産段階に入っており、BYD 独自のアルゴリズムと組み合わせることで、さらなる安全性と性能向上を支えます。

■ ブレードバッテリーからスマートドライビングへ

BYD はこれまで、ブレードバッテリーを通じて、電動車の安全性向上に取り組んできました。そして、スマートドライビング時代においても「安全」と「信頼」をもっとも重要な価値として位置づけています。

「天神之眼 運転支援システム」による技術革新、自社開発チップ「璇玑 A3」、安心を担保する補償制度の導入を通じて、BYD は、より安全かつ安心なモビリティ社会の実現を目指してまいります。

※本リリースは BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを元に中国市場における発表内容を紹介するものです。掲載されている機能・サービスの提供地域および導入時期は市場ごとに異なります。

【参考資料】BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026 年 6 月 3 日（水）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>